

校長室だより



H25(2013年)年度 NO.6

岸和田市立浜小学校 渡瀬 克美

素晴らしい歌声と 合奏が体育館に響きわたる 浜小の音楽会！ もうすぐです！

来たる12月4日(水)午前9時45分から校内音楽会が開かれます。今年も子どもたちの実行委員によるあいさつの後、全員合唱“シング”(カーペンターズ)から6年生の“虹”“バック・トゥーザ・フューチャー”までの約1時間半、子どもたちの合唱・合奏が体育館に響きわたることでしょう。

そこで、音楽科の島村先生に今年の音楽会のねらいなどについて尋ねてみました。すると、『今年の音楽会は、合唱でも合奏でも「歌う」ということに重点をおいて、取り組んできました。歌唱では歌詞の内容をしっかりと感じて表現し“歌う”ということ、合奏ではメロディーをみんなを感じ自分の出番でないところも心で“歌う”ということ。』

そして、一つの大きな曲が完成しました。子どもたちはしっかりと取り組み頑張れたと思います』とのことでした。

つづいて、幼稚園・各学年の取り組みを紹介しましょう。

【幼稚園】

歌、『わたしと小鳥と鈴』は歌詞がとてもきれいな歌です。ゆっくりと優しくきれいな声で歌えるようにすることが難しかったですが、みんなで心をこめて歌います。

合奏曲『ドレミの歌』では年長児はいろいろな楽器に挑戦しました。年少児は初めての音楽会ですが、みんな元気で演奏します。みなさん、たくさんの拍手をお願いします。



【1年生】

小学校に入って初めての音楽会、ドキドキ、ワクワクしています。斉唱『あいうえおんがく』は、テンポが速い曲です。いっぱい練習して、大きなきれいな声で、はきはきと歌うことができるようになりました。口を大きく開けて笑顔で歌うところをみてほしいです。合奏『オーレチャンプ』ではたくさんの楽器を使います。自分の楽器の練習だけでなく、他の楽器に合わせることも難しかったですが、みんなで心を合わせ完成させることができました。1年生41人でサッカーのリズム感のある曲を奏でますので是非お聞きください。



【2年生】

歌の『SAY いっぱいをありがとう』は、きれいな高い声を出す練習をたくさんしてきました。言葉の意味を考えて、優しく歌えばいいところや、元気いっぱい歌えばいいところを見つけました。練習するごとに声があつてきて嬉しかったです。合奏はのりのいい曲です。

楽譜を見たとき、難しそうだったけれど、慣れてきたらだんだんわかってきて嬉しかったです。初めはリズムを合わせるのに苦労しました。でもどんどん合ってきて楽しくなりました。一生懸命歌ったり、合奏したりするので聴いてください。

【3年生】

いつも元気いっぱいの3年生です。3年生では『音を楽しむ』を目標に練習から本番まで取り組んできました。合唱の『風になる』では、教室で口ずさむ子がたくさんいて、みんなが好きな曲です。口をしっかりと動かして、きれいなやさしい声を心がけて歌います。

リコーダー奏の『はやおきにわとり』では、
3年生からの初めてリコーダー。

指をおさえることがとても難しく、休み時間もリコーダーの

練習を頑張りました。合奏では、土曜日のお昼といえば、

『新喜劇』。元気で毎日、お笑いが絶えない私たちにぴったりの曲です。

そんな3年1組バージョンの新喜劇をお楽しみください。3年生37人、心をつつにして一生懸命がんばります。



【4年生】

合唱、『テルーの唄』は、悲しい歌ですが、たかの気持ち、花の気持ち、人の気持ちを表現できるよう、低音の歌い方や、高音の声の出し方に気をつけて、練習をがんばってきました。合奏、『アンダーザシー』はディズニーのリトルマーメイドの明るくて、踊りだしたくなるような曲です。リズムが良く、テンポも速いので、遅れたりずれたりしないよう、一生懸命練習してきました。一人ひとりががんばりつくった曲です。どうぞ聴いてください。

【5年生】

5年1組は、『ハナミズキ』と『エル・クンバンチェロ』を演奏します。『ハナミズキ』はアルトとソプラノが混ざり合ったきれいな曲で、気持ちを込めて歌います。歌詞の意味も考えながら聴いてください。『エル・クンバンチェロ』は、テンポも速く楽しい曲です。今年は新しい楽器も加わりました。きれいな音の組合せを聴いてください。去年よりいい演奏ができるように、休み時間も使って練習してきました。5年生の息の合った演奏を楽しんでください。

【6年生】

今年は、岸和田市の連合音楽会がない年でした。でも、他のコンクールに出場して、インターネットで放映されたり、優秀賞をとったりと活躍しました。最後の音楽会に向けて、全力でできました。最後で最高の演奏をします。ラスト音楽会6年生の努力と絆を音楽にこめて、40人ががんばります。

いかがですか、どの学年も充実した練習ぶりが学年紹介から読み取れます。

私は思います。

- ①音楽は、その芸術性（文化の質）の高さが演奏者や聴く人の心に響く。歌はその歌詞を聴いて共感する。
- ②音楽の取り組みを通して、クラスや一人ひとりの心が一つになることができる。
- ③合唱や合奏は自分も他人もうまくなっていくことがよく分かる。このことで自信につながる。

いよいよもって楽しみになってきました。運動会でも見事な主役ぶりを見せてくれた子どもたち。今度は音楽という表現で、どんなパフォーマンスを見せてくれるのでしょうか。緊張感もあるでしょうが、ぜひ音を楽しんでほしいと思っています。司会・進行役の実行委員の子どもたちの活躍にも目を向けてください。大きな拍手もよろしく願いいたします。



